

(熊谷市) 記者クラブ取材情報

平成 26 年 10 月 27 日発表

担当課：教育委員会社会教育課

事業の名称等

平成 26 年度 熊谷市文化功労者・教育関係職員表彰式

- 実施日時等 平成 26 年 11 月 3 日 (月・祝) 午前 10 時 00 分から
午前 11 時 30 分頃まで
- 会場・主催地 熊谷市立大里生涯学習センター あすねっと
- 主催者・関係者
(1) 団体名等 熊谷市教育委員会
(2) 代表者名 教育長 野原 晃 TEL 048-524-1111 内線 394
- 事業内容 式典 ・文化功労者 3 名 天貝 弘 氏 (文化 81 歳)
小林 芳雄 氏 (社会教育 84 歳)、 増田 敏男 氏 (体育 85 歳)
・教育関係職員表彰者 36 名 { 学校教職員 17 名 、学校医 12 名
(熊谷市内在勤 15 年以上で 学校歯科医 4 名 、学校薬剤師 1 名
勤務成績が良好である者) 公民館 2 名
- 目的・理由 文化功労者：教育・学術・文化・体育の振興について特に功績が顕著で
ある方を表彰する。
教育関係職員表彰：熊谷市内在勤 15 年以上で勤務成績が良好である者
を表彰する。
- 経緯・経過
- 影響・効果 文化功労者表彰：文化活動を行っている方の励みになり、文化活動の
振興に資することになる。
教育関係職員表彰：教育関係職員の励みになり、教育の振興に資する。
- この事業の実施による特記事項

(1) 県内の状況

ア. 県内で初めて イ. 県内で 番目

(2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色

※ 資料の有無 (有) ・ 無)

担当課 熊谷市教育委員会 社会教育課

担当者 門倉、水野

連絡先 TEL 048-524-1111 内線 394

shakaikyoiku@city.kumagaya.lg.jp

熊谷市文化功労者

あま がい ひろし
天 貝 弘 (81歳)

熊谷市上之

氏は、長年にわたり公民館の俳句教室で俳句の指導及び5年ごとの句集発行の責任者として地道な活動を続けています。

平成2年に埼玉県俳句連盟常任理事、平成25年に熊谷市俳句連盟会長に就任し、埼玉県俳句連盟及び熊谷市俳句連盟の発展に尽力するとともに、多くの合同句集を発行する際の編集委員長を務めています。

氏は、その高い実力により、多くの実績を収め、平成24年度には「彩の国・埼玉りそな銀行 第43回文学賞」の俳句部門で正賞(第1位)を受賞し、公私共に、その活動は顕著であります。

また、熊谷市文化連合の要職を歴任し、平成22年には、同連合の副会長に就任、平成25年からは、熊谷市文化連合、大里文化団体連絡会、妻沼文化連合、江南文化団体連合会の合併の作業部会長として鋭意努力をしています。

さらに、熊谷市教育委員会発行の「文芸熊谷」では、創刊号から編集に携わり、第3号及び第4号では編集委員長を務め、熊谷市の文芸創作活動に貢献しています。

このように、優れた行動力と高い教養をもった文化人として、地域文化の発展に日々努めている功績は誠に顕著であります。

熊谷市文化功労者

こ ぼやし よし お
小 林 芳 雄 (84歳)

熊谷市妻沼

氏は、中学校長を定年退職後、旧妻沼町において衛生委員長、同和教育推進協議会委員などの要職を歴任し、平成9年からは、社会教育委員に就任、現在も熊谷市社会教育委員として活躍しています。

また、平成13年には、妻沼町区長会長に、平成17年には、自治会区長会組織検討委員会議長となり、合併に向け自治会の中心として、その力を遺憾なく発揮し、自治会組織編成改革に専念、地域の伝統を守りながら、明るい住みよい新熊谷市の誕生に大きく貢献されました。平成22年からは、2期4年間、熊谷市自治会連合会長を務め、現在も同副会長として活躍しています。

さらに、平成20年から、熊谷市コミュニティづくり市民協議会会長に就任し、春と秋のゴミゼロ運動を通して、地域の環境美化に尽力しており、コミュニティづくり実行賞につづき、平成25年には、コミュニティの輪を広げ活動意欲の増進を図るため、同奨励賞を新設しました。

氏は、住みよい地域社会の実現を目指し、数多くの要職を務め、地域住民のリーダーとして、卓越した識見と行動力で、新しい時代にふさわしいコミュニティづくりに献身的に情熱を傾けています。

このように、自治会活動を通して、平成の大合併により誕生した20万都市の368自治会を束ね、新熊谷市誕生に貢献した功績は、誠に顕著であります。

熊谷市文化功労者

ます だ とし お 増 田 敏 男 (85歳)

熊谷市末広

氏は、埼玉国体が開催された昭和42年に熊谷市バレーボール連盟を創立、初代会長に就任して以来、現在まで会長の要職を務め、昭和48年に市制40周年春季バレーボール大会、昭和58年に第1回シルバー大会（現マスターズ大会）を、平成5年に第1回会長杯争奪選手権大会等々、多くの大会を開催し、バレーボールを通して、地域スポーツの振興に貢献しました。

昭和56年には、第1回小学生バレーボール教室を開講し、児童の健全育成及びバレーボールの普及に尽力し、現在は、5会場で少年少女バレーボール教室が開講されるに至っています。

また、昭和60年には、熊谷市のバレーボールのレベル向上のため、小学生バレーボールクラブを結成して底辺の拡大を図り、多くの全国大会出場チームを輩出することに繋がっています。

さらに、昭和57年には、熊谷市長に就任され、熊谷市体育協会の会長として、市民スポーツの振興や高齢化社会に対応する健康体力づくりの推進、次代を担う青少年の健全育成を目指して、財団法人化に参画し、財団基金の確保をはじめ、諸課題解決に尽力し、昭和60年4月県下初の法人化の実現に大きく貢献しました。

このように、バレーボールを中心としたスポーツ全般の発展、スポーツを通しての活力ある街づくりに大きく貢献した功績は、誠に顕著であります。